



6期生へのお祝いのことば

専攻長 織田泰幸

6期生のみなさん、修了おめでとうございます。みなさんは教職大学院の学生としては初めてとなる6期生オリジナルTシャツを作成した学年です。最終成果報告会後の懇親会では多くの皆さんがそのTシャツを着て参加していることに驚きました。友情と団結のあかしだと思います。

さて、この2年間、皆さんにはどのような学びがありましたか。膨大な文献や論文を読み込み、研究をすることの面白さがわかり始めたころに修了を迎えてしまった人がたくさんいるのではないのでしょうか。これからは皆さんがその学びの面白さと愉しさを子どもたちに伝える番となります。生涯にわたって主体的に「学び続ける教師」として、子どもたちの「学びの支援者・伴走者」として、皆さんが大学院で学んだことを生かして活躍することを祈念しております。

2年間でふりかえって

～6期生が教職大学院で学んだこと～



伊藤 美香	教育がもたらす効果としての自己変容を確認できた2年間でした。沢山の先生方が懸命に準備し、真摯に授業に取り組む姿を拝見する機会を得て、改めて教育職の責任の重さを実感しました。やはり勇気をいただいた気がします。私の研究テーマは「情報共有」でしたが、言い出しにくい現場の中で「人はなかなか発信しない」との結果を踏まえ、自身を鼓舞して発信、周囲の状況を少し良い方向へ変えることができた時は嬉しかったです。ありがとうございます。
諸岡 知徳	様々な問いに出会い、問い続けてきた2年間でした。大学院で学べば学ぶほど問いが深まり、これまでの自身の考えや実践を問い直したり更新したりすることができました。このような経験ができたのも、教職大学院の先生方や多くの学びを共にした6期の皆さんのおかげです。ここまでじっくり向き合える機会は今後なかなかないかもしれませんが、これからも問い続けることを大切にしていきたいと思っています。ありがとうございました。
井川 智嗣	この2年間は「数瞬」と言っても過言ではないほど目まぐるしく過ぎていきました。さまざまな人に出会い、さまざまな経験をすることができました。これは、私が研究していた「偶然」によって導かれたのだと思います。次のステージは、この2年間で培った経験を活かし、新たな世界に足を踏み入れたいと思います。最後に、指導教員をはじめ、大学院の先生方、同期、先輩、後輩に関わった全ての方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。
西田 紀香	教職大学院で先生方や院生の皆さんとともに過ごし学びを共有する中で、様々な考え方や思いに触れ、学びの在り方について考える2年間となりました。教える立場としてだけでなく学ぶ教師としての目線を知り、一人では至らなかったであろう知見を得られたことは、とても貴重な2年間の学びだと感じます。ありがとうございました。
水谷 響	改めて2年間で振り返ると、実習や研究の日々で忙しい時もありました。でも、学部時代の経験不足から教師になることに不安を抱いていた私にとって、教職大学院の授業や実習で得た学びは今後の大きな自信につながりました。新しい仲間や先生方と出会い、これからも支え合っていける関係性をつくれたことは一番の喜びです。2年間ありがとうございました！
石井 紀行	2年間、大変充実した時間を過ごさせてもらい、教職大学院に入ってよかったと感じています。現職の先生方を含めた院生の皆さんと改めて教育について学びを深め合い、学部のときにはなかった視点を数多く獲得することができました。同時に複数の実習を通して実践力を磨き、教師としての自信を身につけることができたことも大きかったです。学んだことを子どもたちに少しずつ返していけるようにこれからも頑張ります。
岡田 有輝	教職大学院での2年間、学校教育を様々な視点から学ぶことができました。特に経営的な視点から教育について考えることが教員経験のない自分にとって大きな学びとなりました。教育実習では、様々な校種の学校へ行かせていただき、とても貴重な経験となりました。複数の校種を見ることで、校種ごとの教育の特徴を考えることができました。この2年間に学んだことをこれからの教育活動に役立て、研鑽を積んでいきたいです。

片山 有梨世	二年前は、気持ちよく走れるハーフマラソンに挑戦！ぐらいの気持ちでした。気づいたら、ウルトラマラソンに種目変更され、研究におけるランナーズハイを体験、思うように体が動かない時間帯があるように、思うように進まない研究と報告書。しかしその中で、様々な事を考え、自身を問い、振り返る事ができました。また、応援してくれる人との出会い、研究し続けられる事、自分自身を更新し続けられる事に感謝の気持ちで一杯です。
川本 正祥	あっという間の2年間でした。先生方の講義、いろいろな子どもたちの出会いもありましたし、学部時代にコロナの影響で4週間の教育実習に行けなかった自分にとって、連携校での実習はとても良い経験になりました。これから教員として働くための準備が出来たと思います。ありがとうございました。
高林 拓斗	「学び続ける」こと。この大切さを毎日のように実感しました。なぜなら、教育に正解はないと感じるからです。この学びは6期の仲間・実習先の子どもたち・大学院及び実習先の先生方との対話から生まれました。この出会いは私にとって財産であり、みなさんに心から感謝しています。この2年間の学びを原点にしながら、日々悩み苦しんでいる子どもたちに手を差し伸べることができる教師を目指します。本当にありがとうございました。
樋田 有秋	教師として自慢できる自分にとっての一つの強みを探すことができた2年間だと思います。学校には様々な人がいて、その人たちとの関わり合いが必須です。現職の先生方と交流し、実際の学校現場を想像することによって、教師になった際に、異なる考えを持っている人達に対して、1つの価値観に縛られずに、柔軟に対応することができるようになったのではないかと思います。
南部 陽香	教職大学院と非常勤講師の二足の草鞋で歩んだ2年間でした。慌ただしい日々でしたが、大学院での授業で理論を元に深く考える経験や他の学生の体験を聞き、それを踏まえた上で実習や授業者としての実践の往還の連続が出来たことは、まさに教職大学院で目指した学びでした。今後現場に出ても、教職大学院で獲得した視点を忘れず、多くの子どもたちに英語を学ぶことの楽しさを伝えていきたいです。
能見 理希	教師として働く前に教職大学院で学ぶことが出来て本当に良かったです。曖昧だった自分の教育観も定まり、「自分が教師としてどのように学び続けるか」といった方針を見つけることが出来ました。これは偏に様々な支援をしてくださった先生方、他の院生の方々のおかげだと思います。これからは1人の教師として、教職大学院での学びを活かして、日々精進していきたいと思っています。
橋本 佳典	教育学部上がりではない私ですが、同じ「教育を良くしよう」と志す仲間や先生方と楽しく意見交流する中で、自分の教育に対する現時点の考え方に自信を持ちながら更に深まりと広がりを持たせられ、安心と学びを同時に得られました。あっという間の2年間でしたが、「教育」が生み出す様々な問いに本気で向き合い続けた時間は、教師になる者にとって大きな人生の財産になりました。このメンバーと、この環境で学べたことに、心より感謝します。
林 直哉	私が入学した2年前は、GIGAスクール構想、現行学習指導要領の本格実施など時代が急速に変化する真っ只中でした。教職大学院の授業は、教育施策や社会の動向、教育課題の背景に対する私自身の在り方・向き合い方に対する問いに、見事に応えてくれる機会・時間でした。「答え」を求めて入学したはずが、いつの間にか「問い」を生き、学び方を学ぶ機会となりました。このような貴重な機会を与えていただいた皆様に感謝したいです。
山田 陽斗	教職大学院を振り返って、僕は教師がただ授業をわかりやすく教えるだけではなく、授業を通して何を教えて、どんな風に生徒を成長させるか考える必要があることを学びました。また、教師として授業することの楽しさ、生徒たちが理解してくれた時の喜びなどをよりこの教職大学院で知れた気がしました。2年間、この三重大学教職大学院で学べて本当によかったと、今改めて感じました。
横田 幸大	この2年間は、学習者として授業を受けたり研究を進めたりする立場と、授業者として子どもたちと関わる立場がありました。学習者であり授業者でもある立場は、常に揺れ動く中で意味や価値を見いだしていくことの連続でしたが、この経験はとても貴重でした。今後も揺れ動くことを恐れず、謙虚に学び続けていきたいと思っています。修了するにあたり、多くの方々にお力添えをいただきました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。
島本 姫佳	今日までの2年間はとても実りの多い時間でした。同期のみなさんは私の研究に助言や励ましをくれ、困っていた私の大きな力になりました。この研究での学びを今後の現場で実践していきたいと思っています。また、たくさんの人との出会いは私の中に豊かさを残してくれました。その出会いを糧にこれからを歩んでいきたいと思っています。人との出会いは巡り合いです。この巡り合いに感謝しています。
服部 小百合	6期のみなさんや先生方と教育についてさまざまな角度から話し、考え、意見を交えました。また、自分の学びのテーマにじっくりと向き合うことができました。たくさん本を読んだり、学校訪問をさせていただいたりして、これからの自分の目指す教師像が明確になりました。これからも学びを継続していこうと思っています。2年間、ありがとうございました。



編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院) 入試広報部会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 ☎ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教育学部・教育学研究科ホームページ <https://www.edu.mie-u.ac.jp/>